

入居企業紹介 その88

新しくSICに入居された企業をご紹介します。

SIC-3 302 Super Ox Japan 合同会社

超電導技術で 持続可能社会の実現を目指して



ヴァレリー・ペトリキンさん (研究開発部長)

セルゲイ・リーさん (CEO)

【代表プロフィール】

Super Ox Japan合同会社

CEO Dr. Sergey Li (Lee) (最高経営責任者 セルゲイ・リーさん)
Director of R&D Dr. Valery Petrykin (研究開発部長 ヴアレリー・ペトリキンさん)

セルゲイさんは、現在、八王子住まい。趣味は川釣りで、ウズベキスタンの故郷にいた頃は、良く釣りを楽しんだそう。日本で働く奥様と日本の大学を卒業されたご長男は、いずれも日本語が非常に堪能とのこと。

ヴァレリーさんは、昨年12月にブラハから八王子に引っ越された。趣味は読書、マッシュアルーツそして旅行。現在、Cordelia's Honor(Miles Vorkosigan Adventures)を読んでいる。旅行はこれまで20か国程訪問したことがあり、特に海が好きである。国内では、北海道、新潟、福井、京都、沖縄などを旅したことがある。ご長男は、現在ブラハの日本語学校"4年生"で、流暢な日本語を話し、読み書きも抜群だそうです。

2人とも旧ソ連で生まれモスクワ大学(MSU; Moscow State University)を卒業した。ともにMSUの無機材料学科の同じ研究室を卒業し、セルゲイさんは博士号を、ヴァレリーさんは修士号を取得した。90年代後半に、両者は再び日本で超電導の研究のため働き始め東工大で再会した。セルゲイさんは日本学術振興会(JSPS)の海外特別研究員として東工大で、ヴァレリーさんは文科省の博士課程員として研究を行ない、

その後ここで博士号を取得した。

過去10年間、セルゲイさんは東京の国際的な研究所で働いていた。モスクワ時代も入れるとほぼ25年間無機材料、超電導を研究している。特に、材料合成で高い評価を受けている。

ヴァレリーさんは蛍光体、光触媒材料を2008年まで東北大で研究し、ここ3年間はプラハのマリーキュリーフェロー研究員として電気化学活性材料を研究していた。ヴァレリーさんは、溶液法材料合成やX線回折散乱による材料構造解析に多くの経験を持っている。

【起業しようと思ったきっかけは?】

これまで、超電導は人類にとって最も挑戦的な固体材料の分野であった。過去30年ほどの研究の結果、高温超電導が商業段階に近づいてきた。最近、セルゲイさんは有望な結果を得て、ベンチャーをスタートする決心を固めた。セルゲイさんは、強力な研究者の経験と力の融合が商業化技術の発展および超電導線材の商品化に対して競争のかなめであると信じている。

資金の用途も立ち事業を始める事を検討している時に、昨年の大震災が起きた。日本での起業を誰も薦めない中で、日本を信じ日本人を信じての決断であった。ロシアのハイテク会社と連携した日本で最初のロシアの研究所として、ロシアの仲間も大きな期待をし激励してくれている。

【事業紹介】

超電導は完全な電気抵抗ゼロを示し、エネルギー使用の効率化、CO₂排出削減などに極めて有効である。超電導ケーブル、モーター、風力発電、リニア、MRIなど多数の応用が期待されている。

そのかなめとなるのが超電導線材である。SIC-3での最初のステップとして、線材の新しい構造、組成、また、製造工程の単純化を行い、成功の暁には、さらに高性能で低コストな長尺線材の量産化を実現したいと考えている。

【これからの夢または目標(長期)は?】

この研究開発で、超電導技術を日本、ロシアを含め世界中に広めるきっかけにしたい。超電導技術は、人口増加による人類のエネルギー問題を解消し、グリーンな社会、持続可能社会を実現できると信じている。

「長い研究開発人生だが、しかし、初心を忘れず、活発に今回の仕事を進めて行きたい」とセルゲイさんは話す。

Super Ox Japan合同会社
SIC-3 3105 & 3302
☎042(707)7077



入居企業ヒックス

●今月の掲載記事紹介

3月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲載していますので、どうぞご覧ください。

3月5日(月) **FMC株式会社**
 神奈川新聞 「建築と会計、融合した視点で建築物評価」

入居企業の皆様へご案内 4月の販売予定日 in SIC-1・2

かわせみの家



<http://17.ocn.ne.jp/kahasemi/>

12日(木)

手作りクッキーや手作りケーキを販売します

営業時間 11:30 ~ 13:00

なくなり次第終了です。

カリメーラ



<http://e-sagami.jp/karime-ra>

6日(金)

13日(金)

20日(金)

27日(金)

なくなり次第終了です。

自家製天然酵母パンを販売します

営業時間 11:45 ~ 13:00

入居企業の皆様へ

SIC-1・2の臨時駐車場について

4月1日より、入居者の方の臨時駐車場の利用を中止します。

このたび、SIC裏のサンエール駐車場が緑区役所来庁者向けに、立体化工事が着手されます。

つきましては、来客駐車場の確保のため、入居者の方の臨時駐車場の貸出を中止させていただきます。コインパーキングのご案内を受付にご用意しておりますので、ご利用ください。

どうぞよろしくお祈りいたします。(SIC 事務局)

ご案内

相模原市補助金説明会・

補助金申請書の書き方セミナーの開催について

- 開催日時：平成24年4月20日(金) 14時~16時
- ◆対象：SIC入居企業及び相模原市内の「ものづくり企業」
- 費用：無料
- ◆定員：20名(社)程度
- 会場：(株)さがみはら産業創造センター内(大会議室)
- ◆内容：
 - ・研究開発補助金の公募について
 - ・SICアドバイザーによる申請書作成講座
 - ・SICアドバイザーによる個別相談
- ◆お申込み：さがみはら産業創造センターへの、HP・TEL・FAX・E-Mailにてお申込みください。
 - URL: www.sic-sagamihara.jp
 - TEL: 042-770-9119 FAX: 042-770-9077
 - E-Mail: t-iiyama@sic-sagamihara.jp
- お問合せ：(株)さがみはら産業創造センター
 担当：飯山(内線1100)

2012年4月

【今月の経営スケジュール(3月期決算の会社参考)】

経理：3月源泉税・税務署より源泉税額表の送付、決算準備、給与計算、試算表作成
 税務：給与支払報告に係る異動届出(随時)

「かわせみの家」さん出店日

「カリメーラ」さん出店日

日	月	火	水	木	金	土
1	2 会議室6月分 予約受付開始	3	4	5	6 🏠	7
8	9 *SIC-1 エレベーター点検	10	11	12 🐦	13 🏠	14
15	16	17 SIC-1 自動ドア保守点検	18	19	20 🏠 研究開発補助金説明会	21
22	23	24	25	26 **SIC-2 共用部床面清掃	27 🏠 **SIC-2 共用部床面清掃	28
29 昭和の日	30 振替休日	1 会議室7月分 予約受付開始	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日

* エレベーター点検 9:30~11:00の間はご利用になれません。
 ** 共用部床面清掃 20:00~翌5:00 ワックス塗布を行います。

お問い合わせは 生井(内線1116)まで
 SICのWEBサイトでもご覧頂けます。

SIC 記念すべき2つのイベント

SICの3月は、記念すべき2つのイベントが開催されました。

最初の1つは、「SIC経営塾10周年記念パーティー」です。経営塾10周年を記念して、3月10日に開催。第一期～第十期の修了生と関係者、約60名に参加いただきました。当日は、経営塾講師の浜銀総研・寺本明輝さんによる講演会、修了生代表のパネル・ディスカッション、懇親会、とても、和やかな「場」になりました。寺本さんを筆頭に、経営塾を愛し、サポートしていただいているすべての皆様に感謝いたします。

SIC経営塾が、10年続いているのは、それなりに理由があります。SIC経営塾の最大の魅力は、受講者自身が自社の「事業構想を立てること」「未来を構想すること」です。そして、それを表現すること、「見える化」することで、参加された方自身が成長していることを実感でき、事業活動の中でその力を発揮できることに、独自の顧客価値があると考えています。

SIC経営塾の初期は、ベンチャー経営者+起業家に、事業構想+事業計画+マネージメント知識を寺本先生の知識+ファシリテーションにより構成する「経営塾」でした。この10年で、「事業構想の立案+発表+専門家の辛口コメント」「非公式同期会+異業種の集まり」の付加が差別化要因となり、競合の東京+横浜のビジネス・インキュベーション、地域支援機関にはない学習の「場」に成長しました。最近の参加者は、若い世代の地域企業の経営者、事業後継者、経営幹部に変化しています。「SIC経営塾」自身も、「寺本先生+発表の場」がブラッシュアップ、SICサポーターの皆様によるスパイスの効いた質問、辛口の講評が、「場」のステージを引き上げている。これらの顧客価値向上が、認められたのではないかと考えています。

何れにいたしましても、10年たったわけです。SICも、10年。第一期生も、10年。サポートいただいている皆様も、10年。そこで、皆様のこれからの10年は、どのようなになっているのでしょうか・・・

この「場」を通じて、それぞれの参加していただい

ている皆様の10年後のありたい姿を、今後も語り合える「場」としていただくことも良いのではないかと考えます。



続いて、2つ目は、「おもしろ企業の魅力拝見!」出版記念会です。

遂に、SICから地域企業を紹介する「本」が発行されることになりました。その出版を記念してのイベントが3月12日に開催されました。

平成21年度から、相模原市の委託事業として、人という経営資源にフォーカスした「地域産業界のひとづくり支援事業」を実施。相模原市とその周辺地域の約500社を対象として、「人」にたいする意識や考え方に絞り込んだ調査となりました。相模原市周辺には、こんなに良い企業がたくさんあることを再認識。大変にユニークな企業を発掘する調査になりました。そして、調査結果をこのままにしておくのは、勿体ないので、23年度は、この調査結果を分かりやすい本にする活動をするに。結果として、21社のノミネート。「おもしろ企業の魅力拝見!」が完成しました。地域の中で、ユニークな企業を知ってもらい、地域の魅力とすることで、相模原地域のブランドが、向上できるのではないかと考えております。

因みに、この本は4月1日より、市内及び周辺地域の書店、Amazonで購入できます。

新しい年度を迎え、新分野進出、新技術開発、新規事業へチャレンジされる企業の皆様に、貢献できるよう充実した支援メニューを用意いたしております。是非、SICを上手に使ってください。

私の好きな漢字!

【株式会社TSLソリューションズ 鈴木 健太郎 さん】

このコラムでは、SIC入居企業スタッフの皆様を紹介してまいります。

今月号ではSIC-2 401号室に入居されている、株式会社TSLソリューションズの鈴木 健太郎さんにインタビューしました。

(株)TSLソリューションズは、走査電子顕微鏡を用いた結晶方位に基づくミクロな組織観察を行うための測定装置の輸入・販売及びサポートを行っています。

また、測定装置を用いたミクロな試料組織のダイナミックな変化を観察するための試験装置（引張試験機・加熱試験機等）の開発・設計・製造・販売も行っています。

その中で鈴木さんは、各種試験装置の製造・検査・調整や修理、輸入品の調整など、主にハードウェアの部分を担当されています。

好きな漢字は『挑』。

鈴木さんの趣味はマウンテンバイクに乗ること。高尾山や五日市、遠出の時には長野など、ほぼ毎週末、山に行っているそうです。初めての道や今まで走れなかった道など、毎回「挑戦する」という気持ちをもって臨んでいることから、この漢字を選ばれました。

「もちろん、仕事でもこの気持ちを忘れずに、将来的には世界で通用するようなものづくりをしていきたい」

と、語る鈴木さん。

インタビュー中は落ち着いた話しぶりで対応していただきましたが、熱い闘志を感じました。



高尾山の写真

鈴木さんのお好きな色は青。山の中を疾駆する姿はまるで風のようなです。

証言で綴る SIC の歴史

有限会社創夢設計
取締役 長崎 克央

— 第2回（2回連続で紹介しています） —

■設計者に選定されてから<早く・うまく>

提案書が受け入れられ、5月初旬に設計者候補者に選定された通知を受けました。

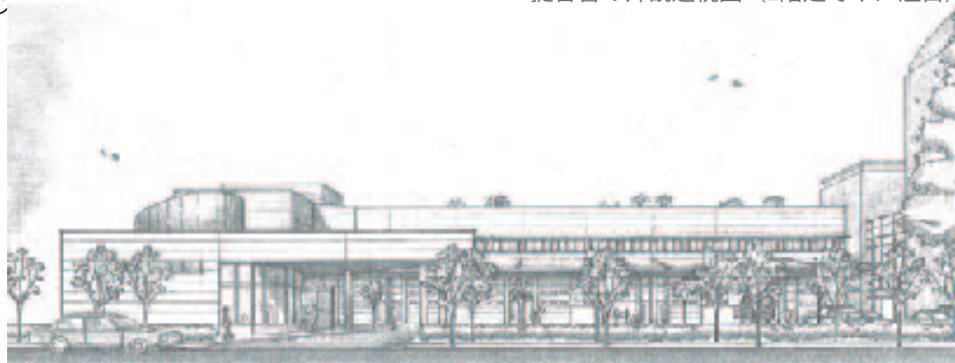
さっそく5月中旬より、SICの関係者の皆様の顔合わせが行われ、提言書のコンセプトにズレのないことが確認されました。その後何度か繰り返された建設委員会での打ち合わせでは、出席者の中で激しくも楽しいキャッチボールが繰り返されました。その際に、関係者の目的意識がほぼ統一されており、議論となるのは、目的を実現させる為の手段や手法についてなので、合理的な結論がすぐ見つかります。

途中で敷地の形状が変わったり、2階建てが3階建てになるなどの外的・内的要因による変更はありましたが「ピンチはチャンス」「変化は追い風」の気分で乗り切り、プロポーザル時点より数段進化・成長した姿で7月下旬に実施設計が完了します。

■コストプランニング<広く・大きく・安く>

階数の変化について、入居者版かわらばん90号にて前田氏が触れられている事に呼応させますと、実はプロポーザル時の要綱にあった概算工事費と建設条件の想定床面積の割合は「まだ潤沢だ」と感じていました。そこで、設計を進める過程で、階数と床面積を増やし、部屋のバリエーションを増やし、レントラブル比（貸室率）を増やす事となりました。

その結果として、入居者の数が増え・幅が広がり、賃料を下げることが可能になり、入居者の負担が減る事となります。



提言書の外観透視図（2階建て↓に注目）

ただし、建築のコストは、設計しながら試算しつつ想定するのですが、コストを下げる提案は設計者にとって危険な賭でもあります。

■工事が始まって<質実剛健・品質重視>

コストプランニングで大見得を切ったところで、実際に施工会社に見積を採った際に、枠外となってしまったら今この文章を書く立場にはいられません。実施設計完了後8月初旬に施工業者への図面渡しが行われ、下旬に見積書を提出していただき、無事に目標金額の範囲内で施工業者：古木建設さんと決定し、高品質な施工をしていただき、完成に至ります。

■そして、10年余の月日がたって想うこと

◇エスキスのコンセプトであった「条件の変化に合わせ、常に（箱も中味も）進化・成長していく柔軟なシステム」のようなものが機能していると感じ、絵に描いた餅ではなかった事を幸せに思います。

◇今思えばSIC-1はまだ潤沢な予算でした。先ごろ完成したSIC-3は、さらにレントラブル比を上げ、単位コストを縮減して成立しています。でもこの背景は、単にコストを下げたのではなく、10年の時を経て施設の的を絞る事が可能になったからとも言えるでしょう。

山本のめし屋レポート～番外編～ 小冊子「**葎尾根のブルーベリー**」が完成！

相模原市のほぼ中央に位置する旧津久井町長竹の葎尾根地区。地元では「ニローネ」と呼びます。豊かな自然と素晴らしい眺望はまるでイタリアの田園風景。

ニローネでは地域活性化の一環として桑畑の跡地を利用したブルーベリー栽培が盛んです。そうした活動を応援するためにSIC地域資源発信プロジェクト室がブルーベリーの新しい食べ方を提案する小冊子を制作しました。レシピづくりは東京家政学院大学の学生2名が担当しました。

私も小冊子の完成披露&試食会に参加し、ブルーベリー大福、ブルーベリーそうめん、ブルーベリーの佃煮、ブルーベリーの巻き寿司、ブルーベリーゼリー、ブルーベリーレアチーズケーキ、ブルーベリークッキーとおなか一杯試食してきました。

中でもブルーベリーの粒を丸ごと入れた大福は粒感が絶妙で、忘れられない美味しさでした。

この小冊子はSICの窓口においてあります。

是非ご覧ください。



編集後記

寒い冬も終わりをむかえ、新年度となりました。SICの近くも河津桜が満開です。春は新しいことにチャレンジしたくなる季節です。先日より、SICアントレ・インターンシップの学生や、SIC経営塾の塾生の募集を開始しています。ホームページに詳しい内容を掲載しておりますので、ぜひご覧になってください。

三露